



氏名 福島 健太郎 (Fukushima Kentaro)

九州大学大学院 システム情報学府
電気電子システム 専攻
2010年博士課程卒

1. 現在の仕事は？

次世代の電力システムにおける技術の研究開発を行っています。
太陽光発電、電気自動車、スマートグリッドなどといった、省エネや低炭素社会を実現するのに必要な基盤技術の追求です。

2. 社会人になって一番役に立ったことは？

大きく挙げると以下の2点です。

- ・研究計画の立て方や進め方で、能動的に取り組めること。
- ・研究分野における先生・企業の方とのつながりを活かしたこと。

3. 学生生活での一番の思い出は？又やり残して後悔したことは？

思い出という大変ですが、

自分の人生の方向を定める恩師の方々と巡り合えたことでしょうか。

博士課程の時の思い出は、

8大学博士学生交流フォーラムやUCEEネットなどでの楽しい時間ですね。

後悔しているのは、

学生間の交流の場 (Student Branch) を組織的に立ち上げきれなかったこと。

社会人になって、サポートできればと思います。

4. 就活で一番大切なことは？

自分の気持ちに素直に向き合うこと。

そして、それを包み隠さず、企業の方や先生に伝えること。

私の場合は、今後のことを一緒に話し合うようなスタンスで臨みました。

また、今の希望の分野から派生して取組める研究分野の可能性を考えて

おくと良いと思います。

5. 後輩へのコメント、アドバイス等自由な意見を書いてください。

まだ社会人になって3ヶ月程度しか過ぎていませんが、毎日楽しく過ごしています。

博士課程を修了したからこそ期待されることもあり、プレッシャーを感じますが、

モチベーションも高いです。

博士課程では、同期の学生が少なかったり研究で悩んだり、孤独を感じる時もあると思います。そのような時間も貴重ですが、たまには同じ境遇の人と悩みを共有したり、学会などで社会人や他大学の先生と話してみたりと、関係の広がりを楽しんでも面白いと思いますよ。

損得勘定なしに語り合えるのは、大学、特に学生の特権だと改めて思います。